

vol.42

そよぐ



2025年2月5日（水）19：00開演

ドビュッシー フルート・ヴィオラ・ハープのためのソナタ
フォーレ 弦楽四重奏曲 ホ短調 Op. 121
武満徹 雨の樹
ラヴェル 序奏とアレグロ

ほか

神谷 未穂、西野 ゆか（ヴァイオリン）
柳瀬 省太（ヴィオラ）／三宅 進（チェロ）
戸田 敦（フルート）／下路 詞子（クラリネット）
竹内 将也、青木紗央、前田秀明（パーカッション）
景山 梨乃（ハープ）

Music from PaToNa念願の「ハープを含む室内楽」作品をようやくお届けすることができます。若手実力派ハーピストである読売日本交響楽団の景山梨乃さんを迎え、ハープの室内楽といえばこれ！という定番中の定番曲を中心にお届けします。そして、Music from PaToNaの魅力のひとつでもある、照明アート。音楽からインスピレーションを受けて作り上げられるその世界観に、音楽家はまたインスピレーションを受け取りさらなる深淵へいざなわれています。そんな照明の鎌田淳さんとともにお送りするのは、武満徹の「雨の樹」。マリンバ2台とヴィブラフォンの作品に、作曲家自身が指示をした照明演出を加え、お届けします。そして、ベートーヴェンその人があまりにも追究し完成しつくしてしまったがゆえにのちの作曲家たちが作曲に苦悩した「弦楽四重奏」というジャンル。フォーレにとってもそうだったようです。結果的にフォーレの死の間際に書きあげられた作品は、仲間の作曲家に推敲と完成を委ねられ、この作品を未来に残すかも委ねられたといえます。フォーレならではの和声の美を響きの美しいパトナホールで是非、堪能してください。